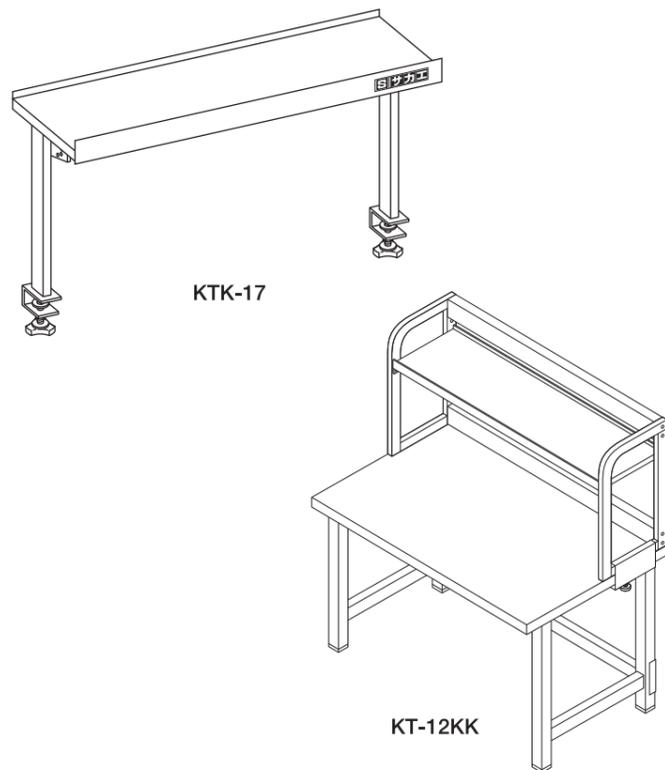


架 台

作業傾斜架台 [KTK]
計測器架台 [KFP]
ポール型架台 [SPK]

取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げ下さいましてありがとうございます。
この説明書は、この製品の使い方(使用上の注意事項)と組立てについて記載しています。組立て・ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
また、この製品を末長くご利用いただくために、この説明書は大切に保存して下さい。
尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、下記のお客様相談室までご連絡下さい。



(作業台は別売)



大阪市城東区成育5丁目22-9

フリーダイヤル
お客様相談室 0120-575101

この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、次の事項を必ず守って下さい。

△安全上のご注意

1. 製品の耐荷重は、計測器架台・作業傾斜架台 20kg ポール型架台 30kg 積載荷重は、製品の許容荷重(耐荷重)の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りすると製品破損の恐れがあります。
2. 製品にもたれたり、ぶら下がったり、また乗ったりしないで下さい。転倒や転落事故の原因になります。
3. 使用中にボルトやネジのゆるみなどによるガタツキが生じたときは、締め直して下さい。ゆるんだままで使用していると、変形や破損及び転倒などの原因となります。
4. 製品の分解・改造や部品をはずしたり、はずれたままで使用しないで下さい。
5. この製品には、指定の物以外のパーツを取付けしないで下さい。落下や破損の恐れがあります。
6. ハンガーが破損したり、変形した状態でご使用にならないで下さい。パーツが落下する恐れがあります。
7. この製品は必ず水平な場所に設置して下さい。前倒れの状態で設置しますと、転倒事故等の原因となります。また、天板に設置する場合はボルトでしっかりと固定して下さい。
8. この製品を移動するときは、吊っている物や、天板に取付けてある物を全て取りはずして下さい。天板と架台を取りはずし、作業台と別々に移動させて下さい。天板に設置した状態で移動させますと、安定がとりにくく落下や破損の恐れがあります。
9. この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明し、この説明書もお渡し下さい。

◆使用上のご注意

1. この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかるところでは、故障やサビの原因となりますので使用しないで下さい。
2. 直射日光の当たるところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
3. 製品を水に濡れたままにしておきますとサビの原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
4. 温度の著しい物の収納は避けて下さい。
5. 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
6. 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。
汚れが著しい場合は、次の1～3の手順を守って汚れを落として下さい。

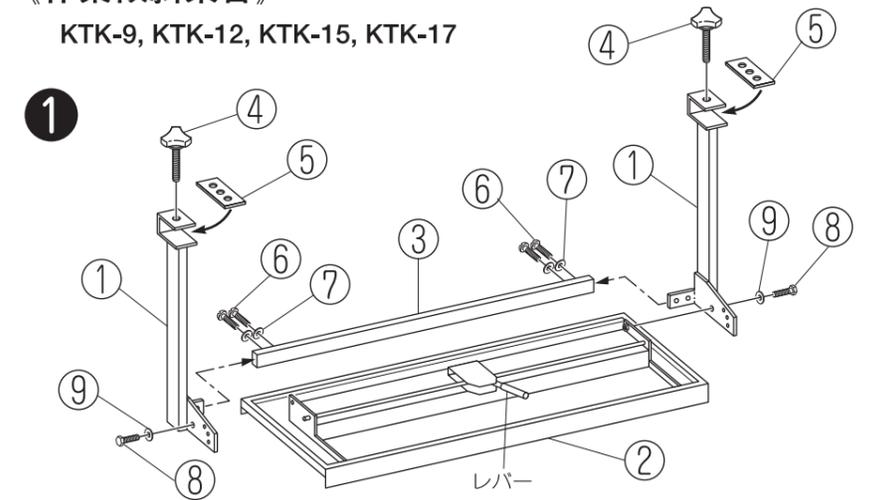
1. 薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
2. 水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。

※汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返し行って下さい。

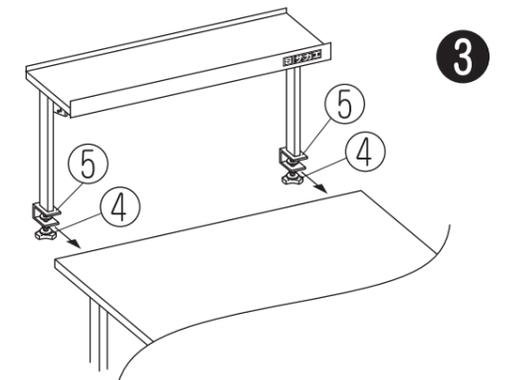
※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。使用しますと表面材の損傷の原因となります。

《作業傾斜架台》

KTK-9, KTK-12, KTK-15, KTK-17



2



●組立て方法

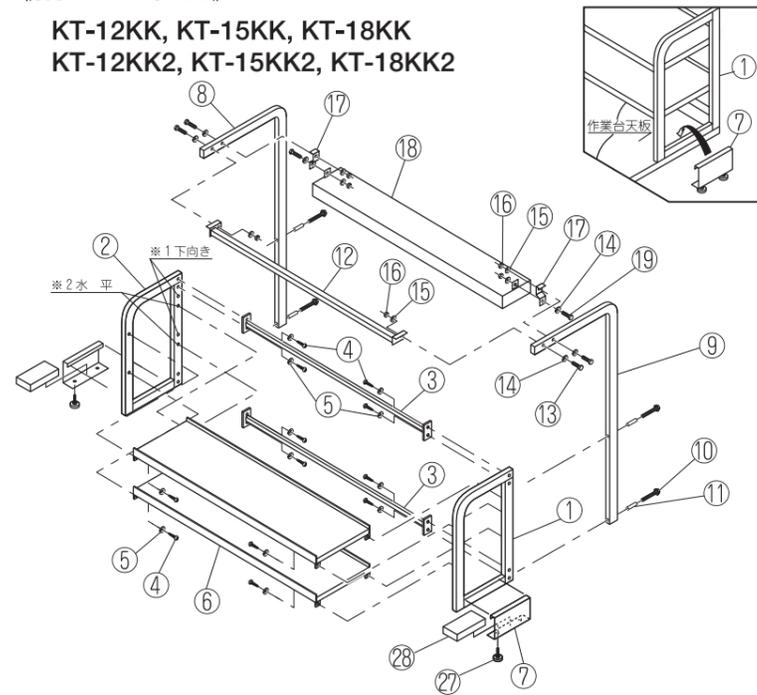
- 1 R支柱とL支柱①をカンヌキ③に差し込みトラス小ネジ⑥、パネ座金⑦で止めて下さい。レバーを引き支柱組立品を傾斜棚②の上に置き、ロックス棒を穴に通して下さい。支柱①を六角ボルト⑧、平座金⑨にて軽く動く程度(1ミリスキ)で止めて下さい。
- 2 ノブボルト④を5回転ほどねじ込んだ後、作業台の上に設置し当て板⑤を入れて、ノブボルト④を締めてしっかりとはずれないように固定して下さい。
※傾斜角度0°、15°、30°
(3段階切替えできます)

●部品明細

番号	品名	数量
1	支柱(R/L)	各1
2	傾斜棚	1
3	カンヌキ	1
4	ノブボルト	2
5	当て板	2
6	トラス小ネジ(M6×10ℓ)	4
7	パネ座金(M6用)	4
8	六角ボルト(M6×25ℓ)	2
9	平座金(M6用)	2

《計測器架台》

KT-12KK, KT-15KK, KT-18KK
KT-12KK2, KT-15KK2, KT-18KK2



●組立て方法

〈KT-12KK, KK2, KT-15KK, KK2, KT-18KK, KK2〉

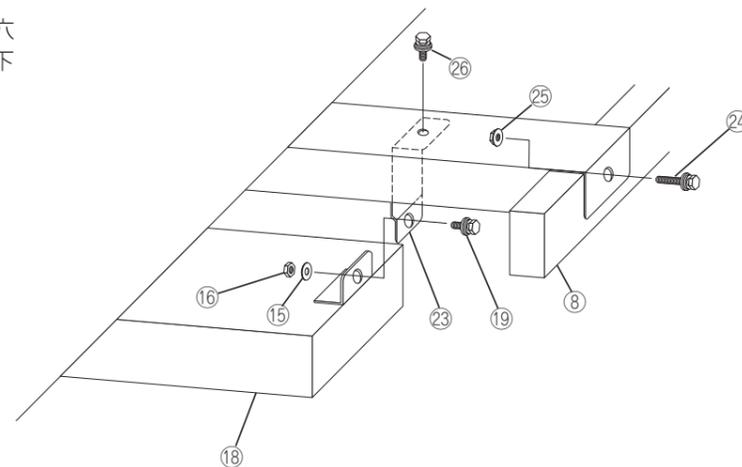
1. 左、右側支柱①②と、カンヌキ③をトラス小ネジ④、パネ座金⑤で仮締めして下さい。
2. 棚板⑥を、左、右側支柱①②にトラス小ネジ④、パネ座金⑤で仮締めして下さい。この時、棚板の角度により※1、※2の中の御希望の位置で固定して下さい。
※2段仕様、オプション棚をつける場合も同様です。
3. 組み上がった商品の左、右側支柱を作業台の天板の両端にそれぞれ合わせ、架台固定金具⑦をはめ込んでノブボルト⑲と押え金具⑳にて天板にはずれないように固定して下さい。

〈フリーハンガー付 KFP-120, KFP-150〉

1. 左、右支柱⑧⑨を左、右側支柱①②に六角アプセットセムス⑩、スペーサー⑪で仮止めして下さい。
2. スライドレール⑫を左、右支柱⑧⑨に六角ボルト⑬、パネ座金⑭、平座金⑮、六角ナット⑯で取り付けて下さい。
3. 左、右支柱⑧⑨にワークライト取付金具⑰を六角ボルト⑬、パネ座金⑭、平座金⑮、六角ナット⑯で取り付けて下さい。
4. (KFP-120, 150) ワークライト取付金具⑰にワークライト⑱を六角ボルト⑲、パネ座金⑭、平座金⑮、六角ナット⑯で取り付けて下さい。
(※ワークライト、ワークライト取付金具はオプションです。)

(KFP-180)

- a. ワークライト取付金具⑲の内、カンヌキを右支柱⑧、左支柱⑨に六角トリーマセムス⑳、セレイト付フランジナット㉑で取付けて下さい。
- b. ワークライト取付金具⑲の内、金具をカンヌキに図のようにセットして、六角トリーマセムス㉒で取付けて下さい。
- c. ワークライト⑳を六角ボルト⑲パネ座金⑭平座金⑮六角ナット⑯で取付けて下さい。



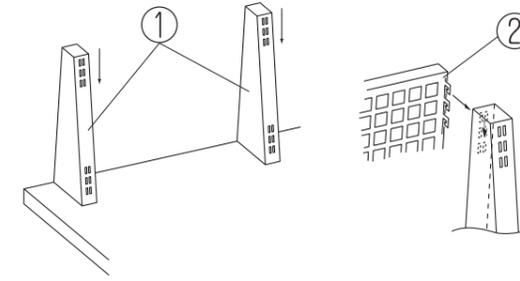
●部品明細

番号	品名	数量	
		棚板1段	棚板2段
1	右側支柱	1	1
2	左側支柱	1	1
3	カンヌキ	2	2
4	トラス小ネジ (M6×15ℓ)	12	16
5	パネ座金 (M6)	12	16
6	棚板	1	2
7	架台固定金具	2	2
8	左支柱	1	1
9	右支柱	1	1
10	六角アプセットセムス (M8×60ℓ)	4	4
11	スペーサー	4	4
12	スライドレール	1	1
13	六角ボルト (M6×40ℓ)	2	2
14	パネ座金 (M6)	6	6
15	平座金 (M6)	6	6
16	六角ナット (M6)	6	6
17	ワークライト取付金具 (オプション)	2	2
18	ワークライト (オプション)	1	1
19	六角ボルト (M6×15ℓ)	2	2
20	ローラ吊金具	3	3
21	ストッパー金具	3	3
22	コーナーガイド金具	3	3
23	ワークライト取付金具 (W1800用) (オプション)	1	1
24	六角トリーマセムス (M6×40 ℓ)	2	2
25	セレイト付フランジナット (M6)	2	2
26	六角トリーマセムス (M6×15 ℓ)	2	2
27	ノブボルト	4	4
28	押え金具	4	4

共通部材

フリーハンガー付部材

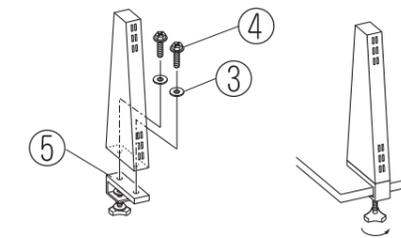
《ポール型架台》



●組立て方法

1. 天板に支柱①をビス等で固定して下さい。
2. パンチングパネル②の爪を支柱の角穴に差し込んで下さい。

【オプション】



●オプション取付金具 (KWP-LPB) 取付方法

1. 支柱①に取付金具⑤を十字穴付六角ボルト④、平座金③で取り付けて下さい。
2. 支柱①を作業台の天板にはめ込み、ノブボルトではずれないように固定して下さい。
3. 組立て方法 2. のように、パンチングパネルを取り付けて下さい。

●部品明細

番号	品名	数量
		SPK-1
1	支柱	2
2	パンチングパネル	1

●オプション部品明細

番号	品名	数量
3	平座金	4
4	十字穴付六角ボルト	4
5	取付金具	2